



27. 9. 11
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

9月11日(金)午前11時頃、海上自衛隊第5航空群所属「P-3C」(那覇)及び第3護衛隊所属「あたご」(舞鶴)が、宮古島の北東約110kmの海域を太平洋から東シナ海に向けて北西進する中国海軍ルージュ級ミサイル駆逐艦1隻、ジャンカイⅡ級フリゲート1隻及びフチ級補給艦1隻の合計3隻を確認した。

また、同時刻、海上自衛隊第5航空群所属「P-3C」(那覇)が、与那国島の南約290kmの海域を南西進する中国海軍ジャンカイⅡ級フリゲート1隻及びユージャオ級揚陸艦1隻の合計2隻を確認した。

なお、海上自衛隊は、当該艦艇が、8月17日(月)、対馬海峡を北上、8月29日(土)、宗谷海峡を東航した後、9月8日(火)、西之島(東京都小笠原村)の北方約150kmの海域を陣形運動しつつ南西進、9月10日(木)、沖大東島の南東約190kmの海域で洋上補給を実施しているのを確認している。

ルージュウ級ミサイル駆逐艦(115)



ジャンカイⅡ級フリゲート(547)



フチ級補給艦(889)



ジャンカイⅡ級フリゲート(568)



ユージャオ級揚陸艦(989)



陣形を組んで航行中の中国艦艇



フチ級補給艦(889)(右中)と洋上補給実施中のルージュウ級
ミサイル駆逐艦(115)(右上)及びジャンカイⅡ級フリゲート(568)
(右下)とジャンカイⅡ級フリゲート(547)(左)



フチ級補給艦(889)(右)と洋上補給実施中の
ルージュウ級ミサイル駆逐艦(115)(左)

